

授業科目名	数学教育史
科目番号	CB23151
単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	春C 月3,4,火3,4
担当教員	蒔苗 直道
授業概要	数学教育の発展や歴史的展開を概観する。日本の数学教育および海外の動向について、英文講読や調査等、適宜、受講者による課題発表を含める。
備考	西暦奇数年度開講。 対面
授業方法	講義
学位プログラム・コンピテンスとの関係	「2. 教育学の基礎的体系的知識」「3. 教育学における総合的思考力」「5. 教育学に関する先導的発信力」
授業の到達目標（学修成果）	数学教育の歴史を理解し、現在の数学教育の目標、指導内容、指導法が、どのように考えられてきたかを知ることが目的とする。
授業計画	第1回 オリエンテーション 第2回 学期の数学教育 第3回 直観主義, 数え主義 第4回 菊池大麓の幾何教育観 第5回 形式陶冶と実質陶冶 第6回 第1期国定教科書 第7回 数学教育改良運動 第8回 改良運動の受容 第9回 生活算術 第10回 国定教科書の改訂 第11回 形式陶冶論争 第12回 数学教育再構成運動 第13回 単元学習 第14回 経験主義と系統主義 第15回 学力論争(1) 第16回 数学教育現代化運動 第17回 数学的な考え方と基礎・基本 第18回 問題解決 第19回 新しい学力観と評価史 第20回 学力論争(2) 第21回 期末試験 (授業での, 各自の課題発表を含む)
履修条件	
成績評価方法	授業での課題発表およびレポート提出 (50%) 期末試験 (50%)
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	授業で指示する課題に取り組む
教材・参考文献・配付資料等	1. 藤井齊亮編, 新教職課程シリーズ・教科教育編 『算数・数学科教育』(一藝社) 2. John Mack and Bruce Vogeli Eds., Mathematics and its Teaching in the Asia-Pacific Region, World Scientific Publishing Company, 2018

オフィスアワー等（連絡先含む）	オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡をすること makinae.at.human.tsukuba.ac.jp
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	西暦奇数年度開講
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	
キーワード	数学教育史